

家庭学習の手引き ～学習の仕方等～



大東市立谷川中学校

「何で勉強するの?」「この勉強は将来、役に立つの?」

みなさん、一度は思ったことがあるのではないのでしょうか?中学校を卒業すると、それぞれが自分で決定した進路先で活躍することになります。その後、社会の一員として生活していかなければなりません。社会の情勢は常に変化していきます。変化の激しい社会に対応するためには、周りとの協力することも大切ですが、人に惑わされず、自分で正しい判断をすることも求められます。正しい判断をするためには、知識はもちろん、分からないことなどを探求しようとする姿勢、しんどいことから逃げずに最後までやり抜く力と自ら学ぶ力が必要です。新しいことを知ること、できなかったことができるようになること、それはとてもうれしいことです。成長できることは楽しいことです。

「知りたい」「成長したい」という気持ちを大切に、日々の努力を積み上げていきましょう。勉強を日々頑張れる人は、他のこともコツコツ頑張ることができます。ぜひ自学自習ノートをはじめとする家庭学習に取り組み、夢を実現できる谷中生になりませんか?

自分の成長を楽しんで、家庭学習に励んでいきましょう!

家庭学習することを通して・・・

- **勉強のしかたを身につけていきましょう!**
- **家庭学習の習慣を身につけていきましょう!**
- **知識が定着することの喜びを感じましょう!**
- **継続し、チャレンジする姿勢を大切にしましょう!**



家庭学習は誰かのためではなく、自分のためにやるんだよ。やればやるほど、自分の力になるんだ。「にがてなことに挑戦する」これからの人生のために必要だよ。



家庭学習のポイント

- ①毎日、勉強のできる環境を整える。
- ②机の上の整理をする。
- ③勉強中はテレビやゲーム、スマートフォンなどは触らない。
- ④得意教科から始める。
- ⑤規則正しい生活を送る。

家庭学習の取り組み方

- ①各教科の宿題に取り組む。
 - ②その日の授業のノートやプリントを見返す。
 - ③理解不足な言葉や問題を書き出す。
 - ④まだ習っていないところの教科書の範囲を読む。
 - ⑤その範囲に書かれている語句などを書き出し、言葉の意味などを調べる。
- 復習
- 予習

家庭学習の時間の目安

よく言われているのが、「学年×10分」と言われます。中学1年生は「7年生」とすると、「7年生×10分」=70分 ということになります。

中学1年生・・・70分 中学2年生・・・80分 中学3年生・・・90分

人間は時間とともに物事を忘れていく生き物です。その日習ったことはその日のうちに復習することで、思い出す労力は少なくて済みます。できるだけ労力をかけず勉強してみませんか？

各教科の家庭学習の仕方

国語

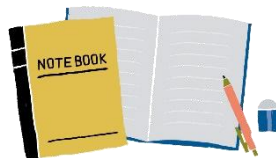
国語は、家で勉強しなくてもセンスがあれば点数が取れやすい教科…と思われがちですが、実は国語が得意な人や読解力がある人は、日々の生活の中で、自然と国語に関わっていることが多いのです。国語力を伸ばしたい!と思う人はぜひ、次のことを意識してみてください☆

読む



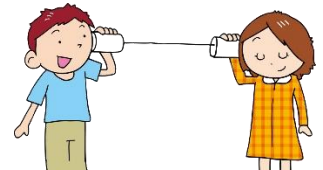
- ① 問題文の長文を音読する。…文章から意味を理解しながら読む練習には「音読」が最適です。教科書の本文や好きな本、絵本などの音読から始めてみましょう。
- ② ツッコミ読みをする。…教科書の本文の予習におすすめです。文章を読むときに、書いてあることに対して「なんで〇〇なん?」「どういう気持ちなん?」など、ツッコミ（問い）をもって読むと、読みが深まりおもしろさが増します。文章の横にツッコミを書き込みながら読むのがおすすめです。

書く



- ③ 「書く」問題を何度も解く。…文章を書くのが苦手な人でも、日常の会話はできるのですから、練習をすれば書けるようになります。授業で解いた問題を、もう一度解くだけでも「書く」力は上がります。
- ④ 漢字を練習する。…毎日こつこつ取り組んでほしいことです。まずは授業で学んでいる単元の漢字を、ノート等に練習してみてください。

話す・聞く



- ⑤ おうちの人や身近な大人とたくさん話す。…^{ふい}語彙（ことば）をたくさん持っている人と話すと、自然と語彙力が高まります!
- ⑥ 新聞を読んだり、ニュースを聞いたりする。…社会の出来事にも興味・関心を持ち、視野を広げたり、自分の考えを深めたりしましょう。

社会

社会科はテストにおいては「暗記科目」と言われることが多いです。しかし本来は「なぜ?」「どうして?」を大切にする教科・学問です。みなさんにはぜひ、「なぜそうなるのか?」という考え方を大切に学習してほしいと願っています。

予習編

教科書を読み、内容を理解する。太字のところを何度も書く。

【地理】 地図の教科書を見て、国や都道府県の位置を調べる。グラフの内容を理解する。

【歴史】 教科書に出てくる人物について知る。出来事の流れ(ストーリー)を確認する。

【公民】 ニュースや新聞を見て、最近の出来事(社会情勢)を知る。その出来事(社会情勢)について、自分の意見を持っておく。

復習編

授業で習ったことを何度も繰り返す!!!

【地理】 授業で習った語句などを何度も書く。国や地域の特色などを自分なりの言葉で文章化する。

【歴史】 出来事の流れを図にしてみる。人物名や語句を説明し、何度も書く。

【公民】 学習した内容が現代社会のどこに関係があるのかなどを考える。大事な法律や条約の内容を理解する。

※ワークや Qubena などでも問題演習をし、言葉を覚えているかの確認はとても大切です。

《例》

前後円墳 ← 3ヶ所

円形と方形の墳丘が連結した形の古墳。

堺の大仙古墳が有名 (仁徳天皇陵) 3世紀~4世紀にかけてつくられた、高く土盛りした墓

前方後円墳 前方後円墳 前方後円墳 前方後円墳 前方後円墳

大仙古墳 大仙古墳 大仙古墳 大仙古墳 大仙古墳

ほにわ... 古墳の周りや頂上に置かれた素焼きの土製品。(埴輪) 土偶と間違えないように注意。

埴輪 埴輪 埴輪 埴輪 埴輪 埴輪 埴輪 埴輪 埴輪

大和政権... 大和地区中心とした豪族たちの連合政権

大和政権 大和政権 大和政権 大和政権 大和政権



社会科は3つの分野から成り立っている。この3つの分野がどのような関係でつながっているのかを理解することが大切じゃ。

日々の授業の中で考えなければならぬことが多くて大変じゃが、頑張ろう。

数学

<前置き>

• 数学は積み重ねの教科です。

すでに習っている内容をもとにして新しい内容を学んでいきます。

不安な部分は質問や自学自習などで克服しましょう。特に分数・小数の復習が大事です。

• 数学は思考力・表現力が大事な教科です。

なんとなく答えがわかる。ではなく、解いた問題の解き方を言葉で人に伝えることで頭の中で考えた内容を整理します。ワークや教科書の問題を解いて身に付けた知識・技能を活用して、応用問題にもチャレンジするといいいですね。

<具体的な方法>

• 授業で解いた問題や例を解きなおす。

同じ問題でも量をこなすことが必要です。先生の解説を聞いて理解したつもりでも、もう1度解いてみると解けないという事はよくあります。

必ず1度は自分の力だけで解けるか確認をしてみましょう。

宿題やワークの問題で練習をするのも良いです。

「知っている」「分かったつもり」から「できる」にレベルアップしましょう。

• 授業の内容をまとめなおす。

まとめ用のノートを作り、今日の授業の内容を要約して1ページにまとめます。

テスト前などに見返すノートとして活用できます。ルーズリーフを使用するのも良いでしょう。

• タブレットやワークを活用する。

タブレット学習ツール「Qubena」やワークを解き進めましょう。学習した内容でなくても、解き方や解説がついているのでどんどん進めていくことができます。

• なぜ?を大事にして、とことん調べる。

解き方が分からなかったり、解いてみたけど答えが違うときにすぐに誰かに聞くのではなく一度、教科書や授業のノートなどを見て調べるという過程を入れてみましょう。自分で調べることで、記憶にも残ります。

理科

『理科とは』

人間には

「自分たちのまわりの世界（たとえば自然）を知りたい。」

「身のまわりで起こるできごとの原因を知りたい。」

という欲求があります。そのため、大昔から自然を調べようと努力した人たちがいて、その積み重ねが今の理科をつくっています。

「太陽が動いているのではなく、地球が動いていること。」

みなさんが常識と考えていることも、一昔前の人たちには常識ではありませんでした。これらの常識は多くの人たちの研究の結果あきらかになったことなのです。そうして明らかになった知識や考え方は、私たちの文化にもなっています。そして、現在もさまざまな研究が行われています。もしかしたら、あなたも将来それに関わるかもしれませんね。

家庭学習について

【教科書で学習する】

中学校で学習する内容は、すべて教科書に書いてあります。教科書を読んで内容を理解することが学習の基本です。「文章を読み取る力」、「わかるまで繰り返し学習する力」が必要となります。復習も予習もすべて教科書から始まります。『教科書に書いてあることがわかる！』をめざして学習に取り組みましょう。

【問題集を解く】

「得た知識を使う」

知識が本当に身についているか、問題を解いて確認しましょう。

「得た知識を用いて、応用する」

語句を答える問題であれば、教科書を読んで覚えることができますが、得た知識を応用して、活用するためには問題を解くことが必要です。問題集の問題を解いてみましょう。

「公式を用いて計算する」

理科には公式を用いて計算する問題もあります。教科書に載っている計算問題を解くだけでは、計算する力を十分に身につけることはできません。問題集の問題を解いて、慣れるまで繰り返し学習しましょう。

英語

単語・熟語を覚える

○授業で学んだ単語や熟語、習った文法などをノートに書く！まとめる！
声に出して読む！などして復習するようにしましょう！

自分で英語のスペルや読み方、意味などを確認しながら、声に出しながらノートにまとめていくことで、暗記できる単語や熟語が増えていくはずですよ。繰り返すことが大事ですよ！最初から投げ出さず、諦めず、挑戦してみましょう！

問題をたくさん解く

○ Qubena を活用してたくさん問題を解きましょう！

Qubena には単語や文法問題だけでなく、リスニングやライティング問題も搭載されているので、自分で問題を見つけて解いてみましょう！

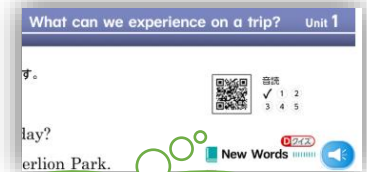


英語を読めるようになる

○「英単語・英文を見て、自分の力で読めるように！」

教科書やワーク等についているQRコードを、タブレットやスマートフォンで読みこんで、URLにアクセス！

音声を聞いて、単語や本文を音読練習しましょう！



音声だけではなく、映像を見ることができ
ます！ぜひ活用してください！

英文を書けるようになる

○授業などで学んだ英語を使って、声に出しながらノートに英文を書いてみましょう！

合っているか気になるときは、英語の先生に確認してもらってもいいですよ◎

音楽

復習

『知識』の部分は覚えるしかありません。この人は誰ですか？この記号の意味は何ですか？などなど。復習を大切にしましょう。他には、習った曲をインターネット上で聴いたり、口ずさんでみたりしてみてください。また、同じ曲を違う人が演奏しているものを聴き比べてみるのもおもしろいです。その際、音楽を形づくっている要素を比較してみて、感じる印象を考えることで、鑑賞文を書く練習にもなると思います。



やってみよう

音色 旋律 リズム 強弱 速度 重なり 構成

音楽の要素

“音楽の要素”はたくさんありますが、特に覚え、意識してほしい7つを上で示しました。鑑賞の授業では、この要素をどのように工夫して曲にどのような印象を与えているのかを探してもらいます。おうちで、自分が好きなアーティストの曲を聴く際も、探してみてください。例えば、卒業ソングであれば、『未来の希望を力強く明るい声で歌っている、この少し切なく、ゆっくりになった所は悲しさがより伝わるなあ…』などその曲の歌詞をより強調するために、どのような音楽がつけられているのか、分析してみてください。

私たちの周りは音楽で溢れています。ゲームやテレビ、インターネット上で見る作られた音楽から、雨や動物の声などの自然の音、日常の生活音など色んな音がありますよね。自分で演奏するのは得意、苦手があるかもしれませんが、好きな音楽や好きな声、なんか心地いいな~と思う音、寄り添ってくれる音楽を見つけいきましょう。



美術

予習編

美術の制作課題がわかったら、まずは課題に関連する資料を探します。
描くときに何も見ないで描くのは厳しいですね。
リアルでもデフォルメでも、もともとの形やもようなどを知っていて、省略して描くことができます。

良い資料を探してくれば、アイデアスケッチの半分は成功です！

○ 資料を探すには？

- 図書室（大東市図書館）などで、
 図鑑や本を探して借りてくる。
- WEB（タブレット）で探す。
 できれば、プリントアウトする。
- 自分が持っている本やパンフレットや
 雑誌の切り抜きをコピーして持ってくる
 or 持ってくる。
 （「まんが」などはカバーのみかコピーしてくる）



テストの実技編

美術も定期テストがありますね。
授業で制作した課題の注意ポイントやコツなどが出題されます。授業の最初にわたされるプリントや課題に関連した教科書や美術資料のページを見なしておきましょう。

実技テストは、毎回、テーマが予告されます。

テーマがわかったら、実際に「鉛筆」で描いてみましょう。
コツは、

- ① 大きさは、わくいっぱい描こう。
- ② 線はしっかり、ていねいに、ゆっくり描こう。
- ③ 鉛筆で濃淡をつけて描く。
- ④ 「テーマ」に合ったものを描く。

短いテスト時間に初めから考えるのは難しいです。どのように描くかをイメージしてテストに挑みましょう。

保健体育

保健体育の家庭での取り組み

★勉強について★

- ①授業中に使われる各種目の用語を授業中のうちに覚えられるようにする
- ②保健の授業は授業中に黒板に書いたことやプリントの内容を覚える

→この2つのことを大切に、テスト前にお家で振り返り、何回も用語を書こう！
そして、ひたすら覚える覚える……！！

※保健の授業で学習する内容は自分の体のことや生活していくうえで知っておいてほしいことばかりです。テストに出なくても覚えておいてほしいです。

★実技について★

体育と言えばやっぱり、実技です。

とにかくお家でも体を動かしてほしい！！

ゲームや携帯ばかり見ていませんか？運動をすると、

- ①筋肉がつく！
- ②病気にかかりにくい！
- ③ストレス解消や心がスッキリ！
- ④体育の先生のような素敵な体になれる！！

このような効果があります。

これからの人生で、適度な運動は必要不可欠です！

体を動かすことは楽しい！ということを授業の中で知ってください！

そして、ゲームばかりせず、体を動かす遊びをたくさんしてくださいね！

技術・家庭

【技術分野】

1. テスト前に教科書・ワーク・授業で配られたプリントを見直す。

普段は、週1回の授業で学習内容もそんなに多くないので、集中して授業を受けることができれば、学習内容も定着しやすいと思います。そのため、テスト前は教科書とワーク、プリントを見ながら、授業で先生が大事と言ったところを中心に勉強してください。

2. テレビやネットのニュースなどで、「技術」についての情報を意識しよう。

日々進歩している「技術」を意識することで、授業の内容の理解度を高めます。さまざまな分野を学ぶ教科ですから、日常の生活の中でも意識して「技術」を見つけてください。それが技術の学習につながります。

【家庭分野】

学んだことを実生活でどんどん生かそう！

家庭分野で学ぶ内容は、すべて私たちの生活に直結しています。授業で学んだことをどんどん実生活で活用していきましょう。そうすることで、授業での学びが生きる力となり、自分らしくより快適な生活を送ることができるようになります。

例えば、食生活の学習では6つの基礎食品群について学びます。6つの基礎食品群に属する食品をそれぞれバランスよく食事に取り入れることで、健康な身体と食生活の自立につながります。

テスト前は授業プリントとワークで復習しよう！

定期テスト前は授業プリントとワークを使って重要語句を復習しましょう。ワークには学習の確認ができる問題が載っています。上手に活用してテスト対策を行いましょう。そこから実際に何点分か出題されるかもしれません…。